



見る



変動する大地との共生





食べる





学ぶ

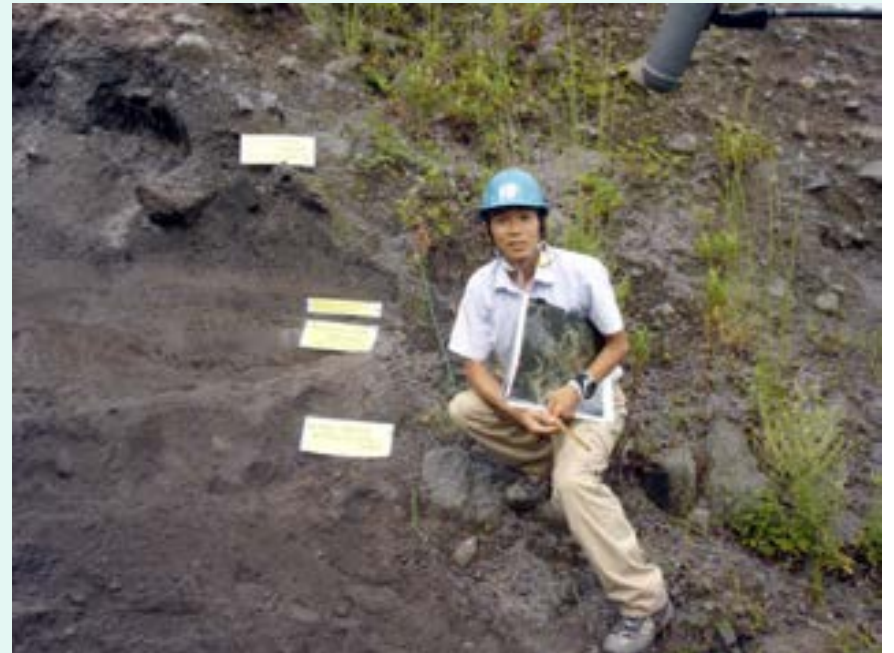




山陰海岸ジオパーク



島原半島ジオパーク





室戸ジオパーク



南瓜咲き室戸の雨は湯の如し

大峯あきら





Itoigawa geopark 糸魚川ジオパーク



爽やかやフォッサマグナの地に嫁ぎ
秋出水翡翠流るる噂など

保坂季泉
五十嵐三千枝

asahi.com : ジオパークツアー好評 首都圏から「大人の修学旅行」 - マイタウン岩手 mytown.asahi.com

社会 1 user B!



「いわて三陸ジオパーク」の認定を目指す県が、朝日旅行など首都圏の旅行会社2社とタイアップしたツアーが好評だ。首都圏の旅行希望者が対象で、3日からの2泊3日ツアーを最初に、6回予定されている。三陸海岸を、地球活動の遺産を見どころとする自然公園「ジオパーク」にふさわしい地質資源や海洋関連の研究機関がある地域として売り出そうという試みだ。県沿岸広域振興局経営企画部によると、ツアーは3商品あり「宮沢賢治の歩いた三陸・遠野ひとり旅」「三陸牡蠣(かき)や鮎(あわび)のいわて食の玉手箱」「三陸の自然と食の体験」などがある。

▼ブログで紹介する



東日本大震災の記憶を 後世に伝え生かすために

11.25 金 いわて県民情報交流センター (アイーナ) 無料

**いわて三陸ジオパーク
震災復興シンポジウム**

11.26 土 有料

被災地巡検

・盛岡から大型バスで移動

※参加者が少数の場合は中止になることがあります

これまでいくたびも地震・津波に見舞われ命を失った「三陸」。今回の未曾有の東日本大震災の記憶を50年先も決して風化させることなく後世に伝え、地域として生かしていくために、今からどう取組を開始すべきか、取組事例等の紹介や有識者の意見を請まえながら、皆の理解を深めていくことを目的に開催します。またシンポジウム翌日には、いわて三陸地域の被災状況、復旧状況を正しく理解していただくため、被災地巡検を行います。いわて三陸復興のため何ができるのか、現地でみなさんと意見を共有したいと思います。

<p>シンポジウム講演者</p> <p>○基調講演 東日本大震災においてジオパークができること</p> <p style="text-align: center;">尾池和夫 氏</p> <p>日本ジオパーク委員会委員長 財団法人高等研究所所長 福島第一原子力発電所事故調査・検証委員会委員 元京都大学総長</p>		<p>○事例発表 I</p> <p>被災地の思いを伝える -三陸鉄道の取組-</p> <p style="text-align: right;">草野 悟 氏</p> <p>三陸鉄道を勝手に応援する会 会長</p>
<p>○事例発表 II</p> <p>雲仙普賢岳噴火災害から 20年-復興の軌跡-</p> <p style="text-align: right;">杉本伸一 氏</p> <p>第5回ジオパーク国際ユネスコ 会議事務局長</p>		

大地の遺産とそれらの持続可能な発展

第5回ジオパーク国際ユネスコ会議

5th International UNESCO Conference on Geoparks

GEPARKS 2012

2012年(平成24年)
5月12日(土)~15日(火)
島原半島世界ジオパーク



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

Under the patronage of
UNESCO

English >>



ホーム

大会概要

会場案内

プログラム

講演要旨登録

参加・宿泊案内

視察旅行(巡検)

関連行事

展示

お問い合わせ

リンク集

プライバシーポリシー

第5回ジオパーク国際ユネスコ会議

5th International UNESCO Conference on Geoparks

◆ 8/21 イベント「シンポジウム

『島原半島ジオパークと観光振興のゆくえ』開催

会場：深江ふるさと伝承館

内容：【基調講演】 深見聡(長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科准教授) 演
目「ジオパークに求められる地域力とは」

【ジオ発表】 県立島原商業高校

「私達のふるさとづくり～島原半島ジオパークを盛り上げよ
う!～」

【パネルディスカッション】

※詳細は、[こちら](#)をご確認ください。

◆ 8/11~8/14 イベント「島原半島世界ジオパーク展in長

会場：長崎空港

内容：小崎侃 作品展

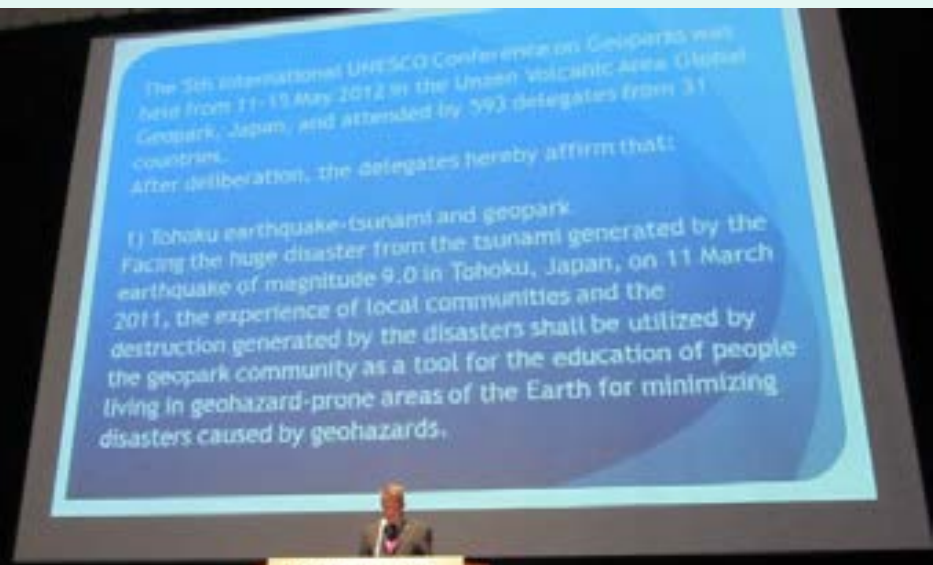
*小崎侃 「島原半島世界ジオパーク」をテーマにし
芸術面から島原半島の魅力を発信する画家



セカンド
サーキュラー







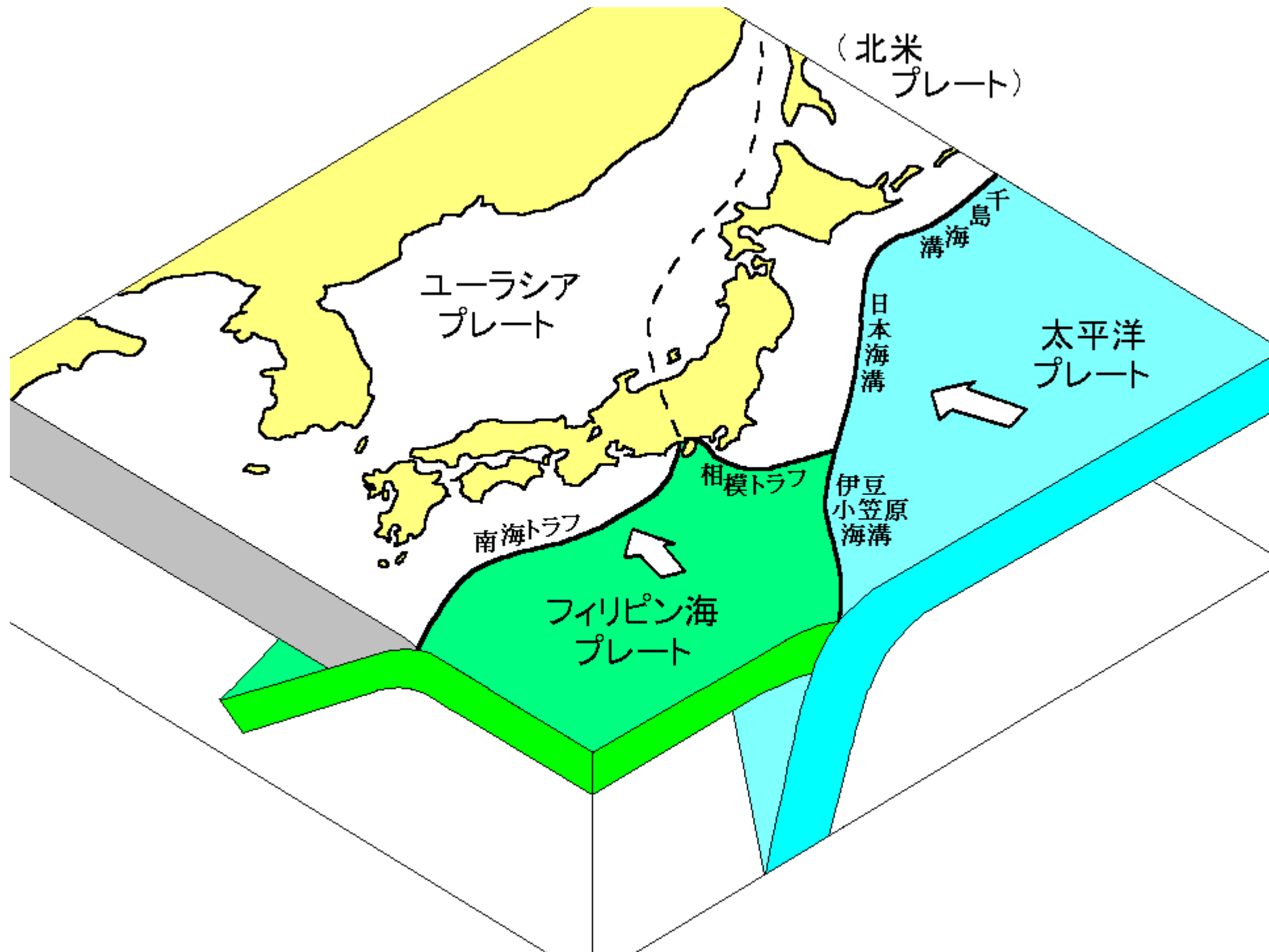
日本ジオパークネットワーク



- 会員 20地域 + 5地域
23都道府県 37市 36町 8村
- 準会員 14地域 鹿児島市(加盟日:2012年10月3日)
- 合計 30都道府県 52市 49町 17村 118市町村

参考 2012年(平成24年)1月4日現在の日本の市町村
787市、748町、190村
合計1,725(内6村はロシアが支配)

- 序
- 季語の生まれた国
- 太陽と月の役割
- 地球の今
- 変動帯と安定大地
- 日本海の拡大
- 東日本の巨大地震
- 日本列島を見る
- 西南日本の地震活動
- 地球社会の調和ある共存




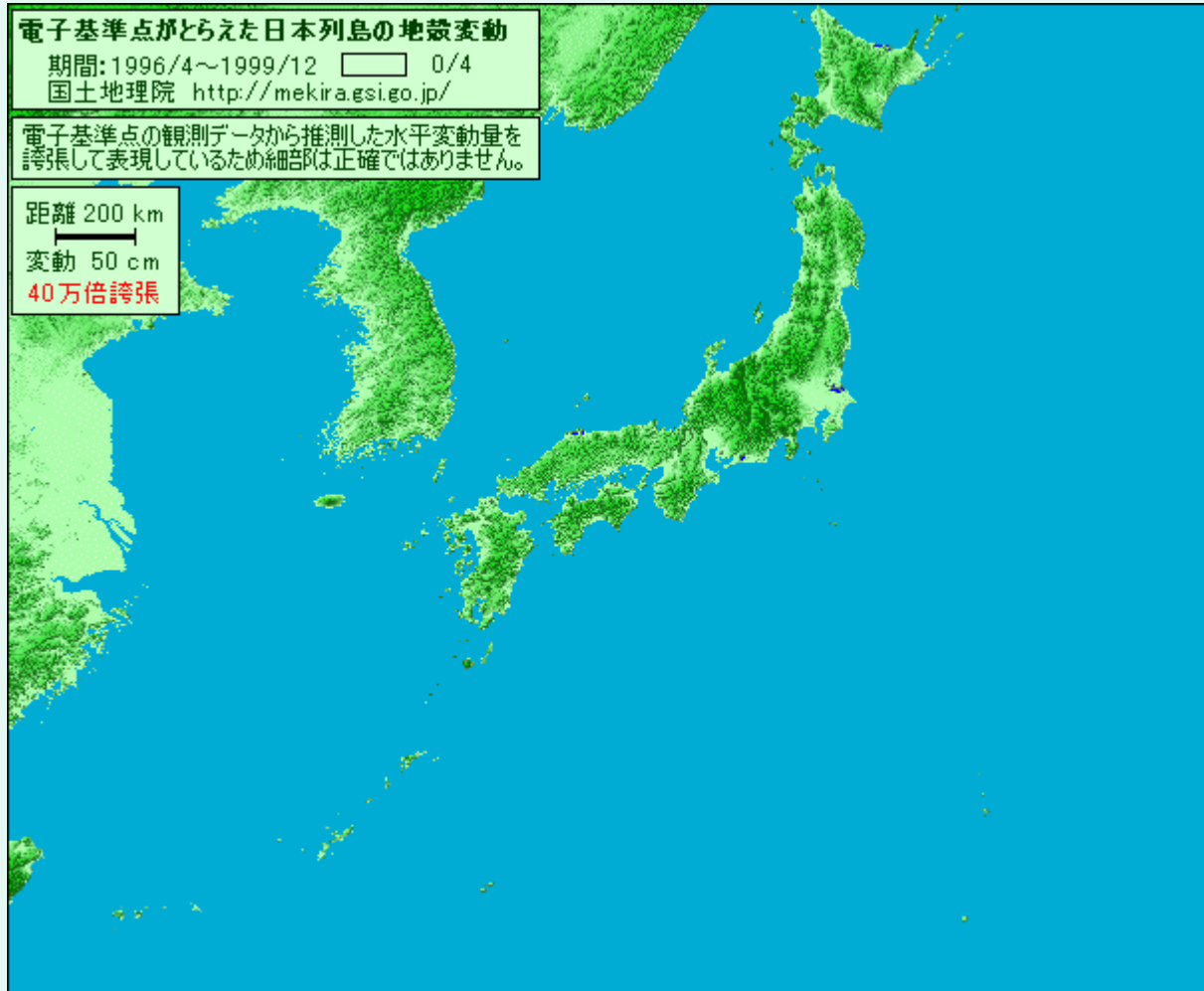
電子基準点がとらえた日本列島の地殻変動

期間: 1996/4~1999/12  0/4

国土地理院 <http://mekira.gsi.go.jp/>

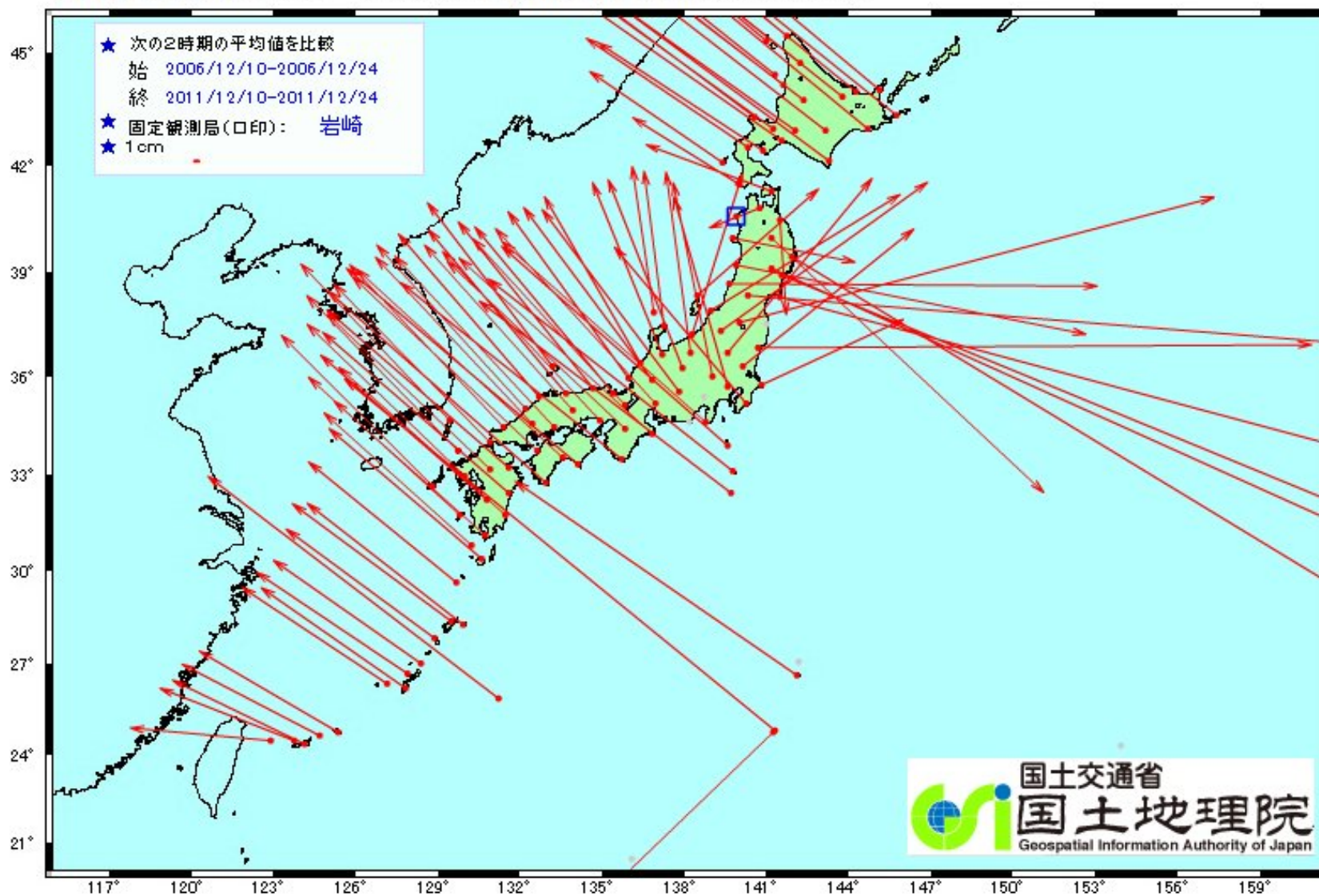
電子基準点の観測データから推測した水平変動量を誇張して表現しているため細部は正確ではありません。

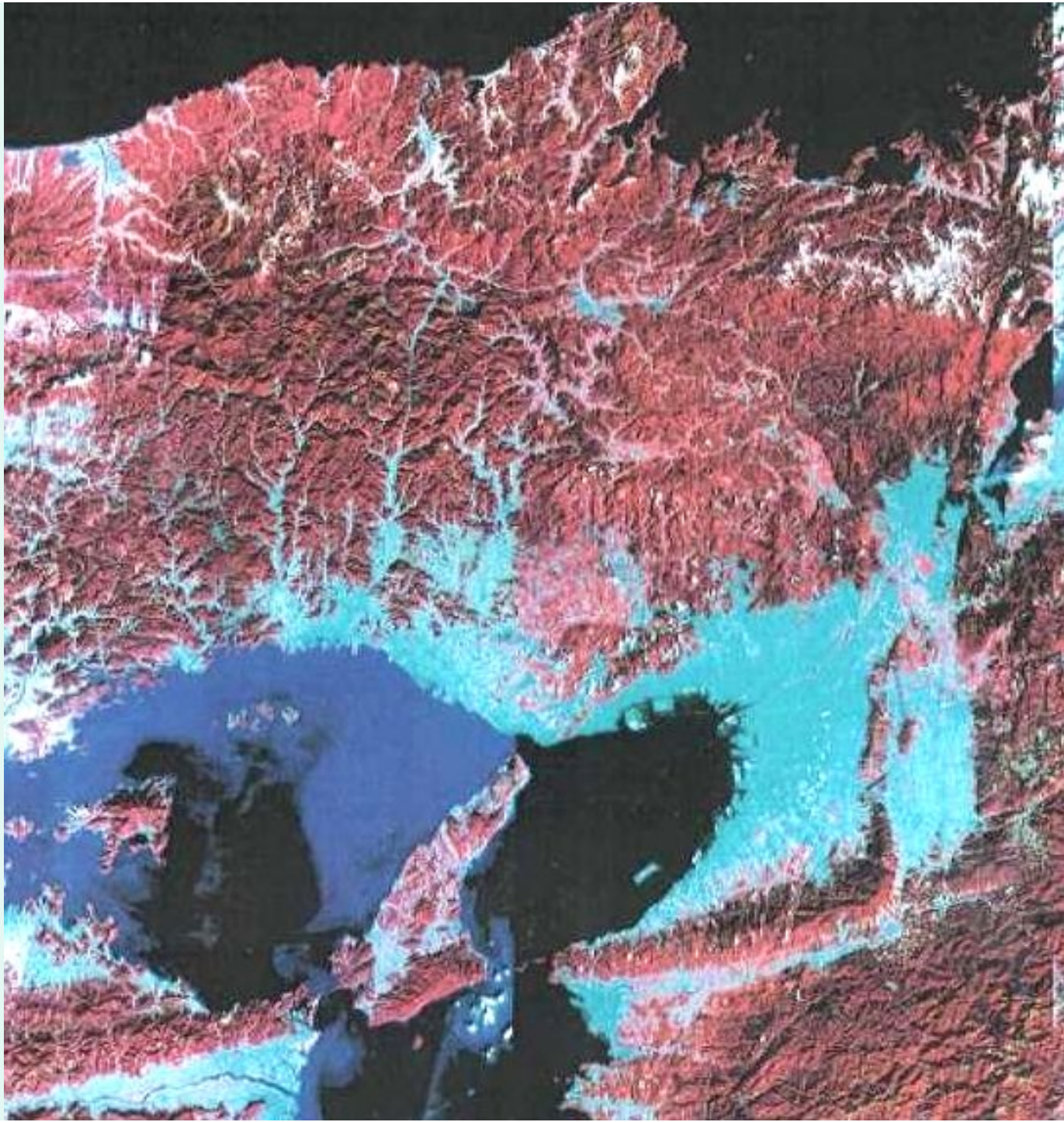
距離 200 km

変動 50 cm
40万倍誇張



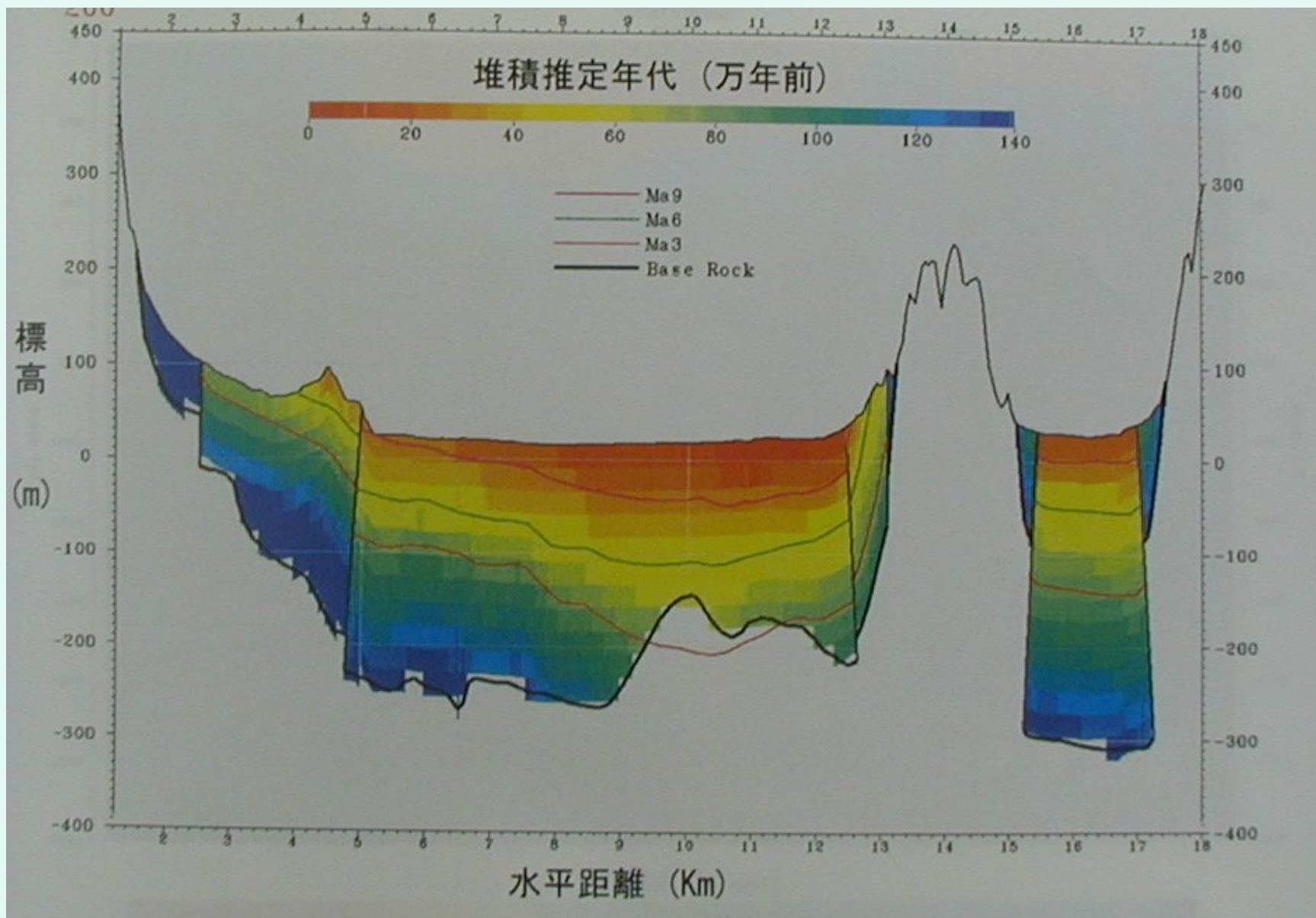
[地理院ホーム](#) > [基準点・測地観測データ](#) > [日本列島の地殻変動](#) > [最新の地殻変動情報](#)

2011年12月24日までのデータを使用して、2012年01月10日に更新しました。











水の文化



京都市の地下水

茶の湯

三千家 表千家、裏千家、武者小路千家

小川通りに面して、それぞれの井戸を持つ。適量の重炭酸塩。

友禅

河川の規制で、地下水。鉄やマンガンなどの金気がない。

豆腐、湯葉

ややミネラル分が多い。

日本酒

和菓子

蕎麦

京料理

半導体

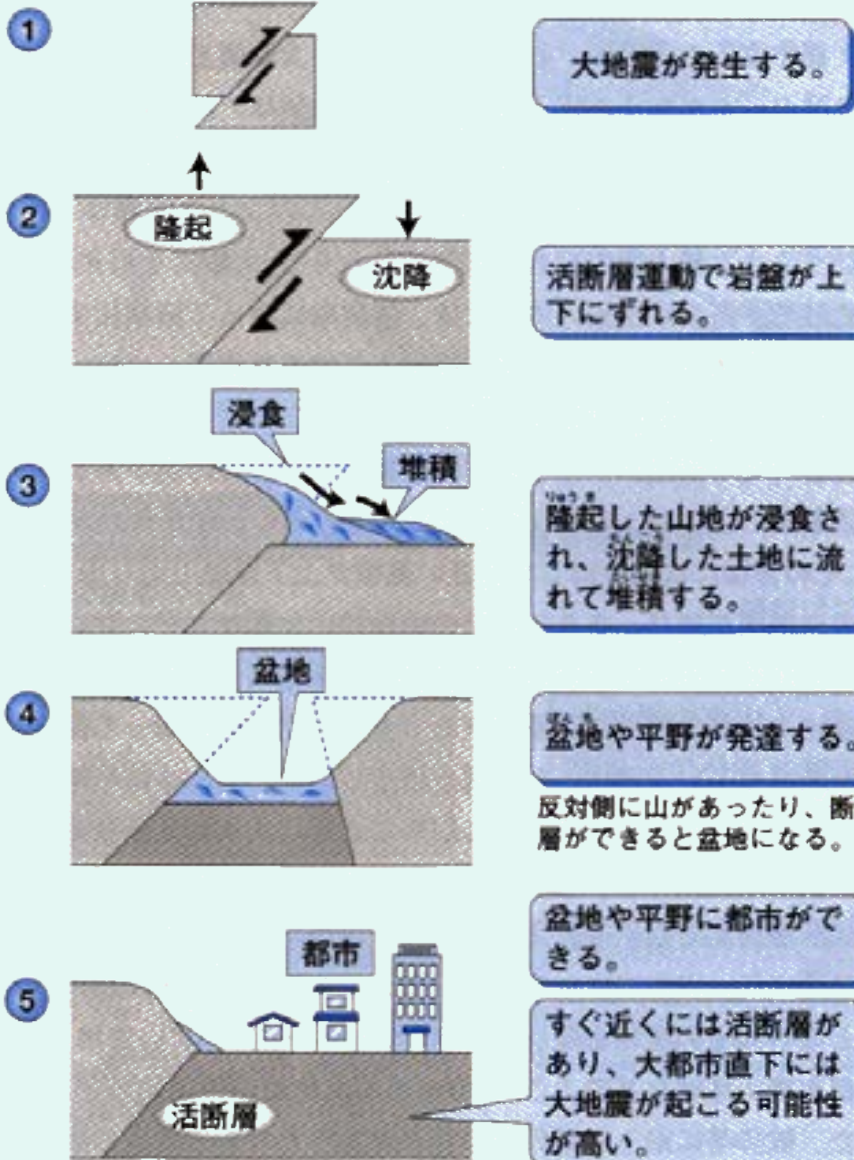


尾池和夫著 『俳景』 『続俳景』 『俳景(三)』 (宝塚出版) (2007年12月)

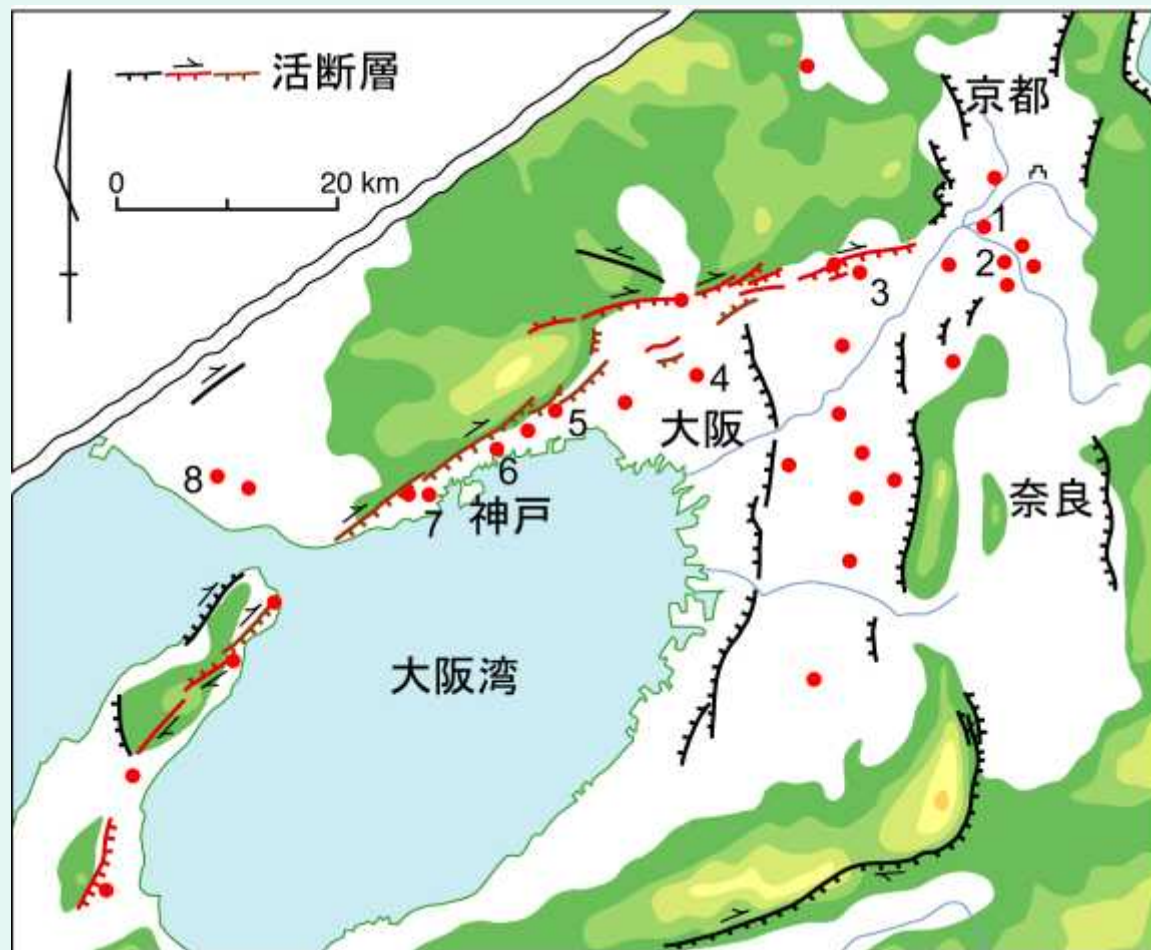
『変動帯の文化』(京都大学学術出版会)(2009年11月)

内陸大地震が平野をつくった

都市ができるしくみ



活断層運動が盆地や平野を産み出した。
したがって大地震は大都市の直下に起こる。



産業技術総合研究所
寒川旭による。

大阪平野の活断層と地震跡。赤線は伏見地震で活動した可能性が高い断層、茶線は伏見地震で活動した可能性がある断層、黒線はそれ以外の活断層です。赤丸印は伏見地震によるとと思われる地震跡が見つかった遺跡。1:木津川河床遺跡、2:内里八丁遺跡、3:今城塚古墳、4:田能高田遺跡、5:芦屋廃寺跡、6:西求女塚古墳、7:兵庫津遺跡、8:玉津田中遺跡

地質調査所「有馬－高槻構造線活断層系のトレンチ調査」

川西地区、箕面地区、茨木地区でトレンチ調査を実施した。

川西地区：花屋敷低地帯南縁断層の最新活動時期は安土桃山時代～江戸時代初頭

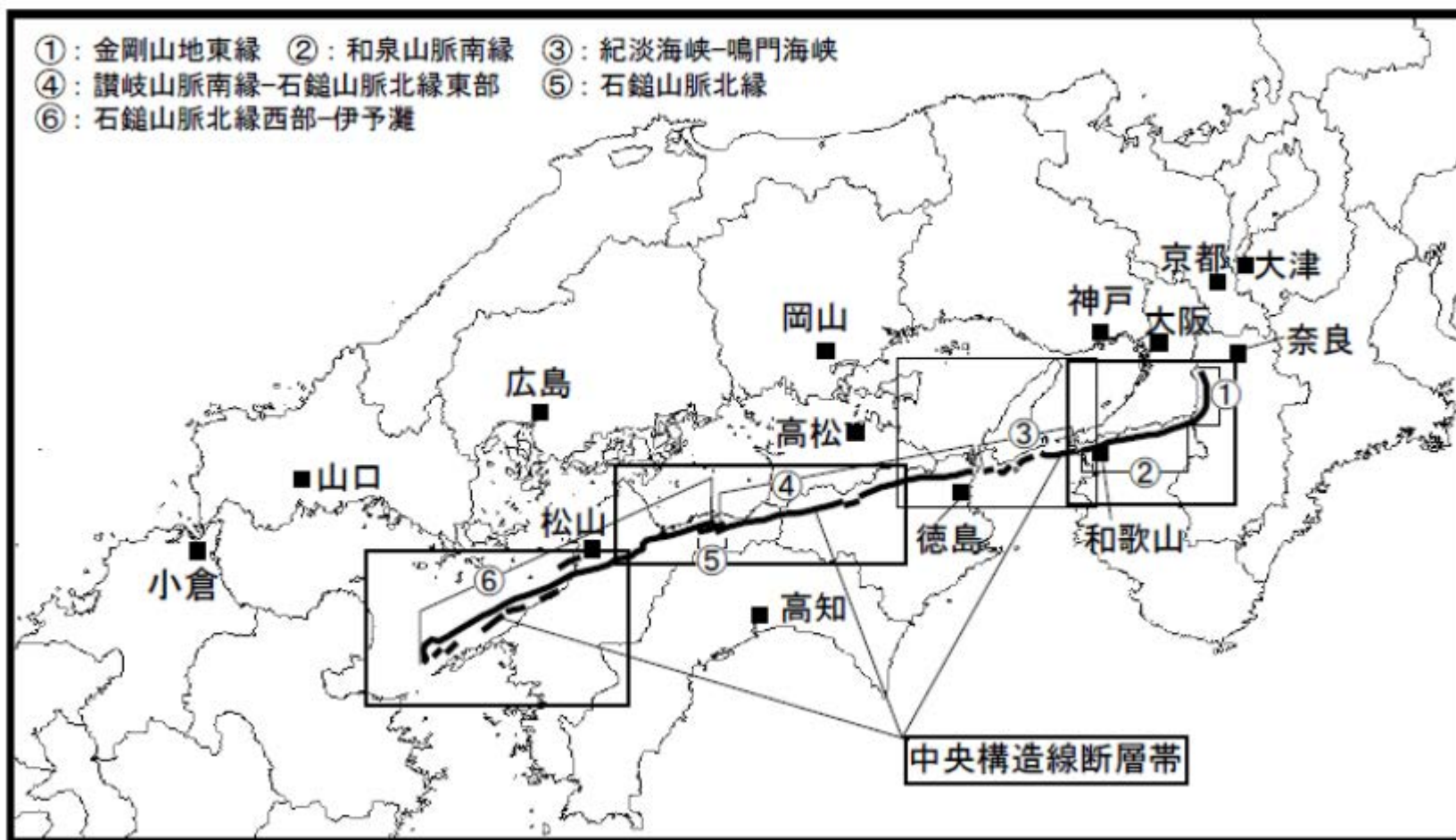
箕面地区：坊島断層の最新活動時期は室町時代～江戸時代

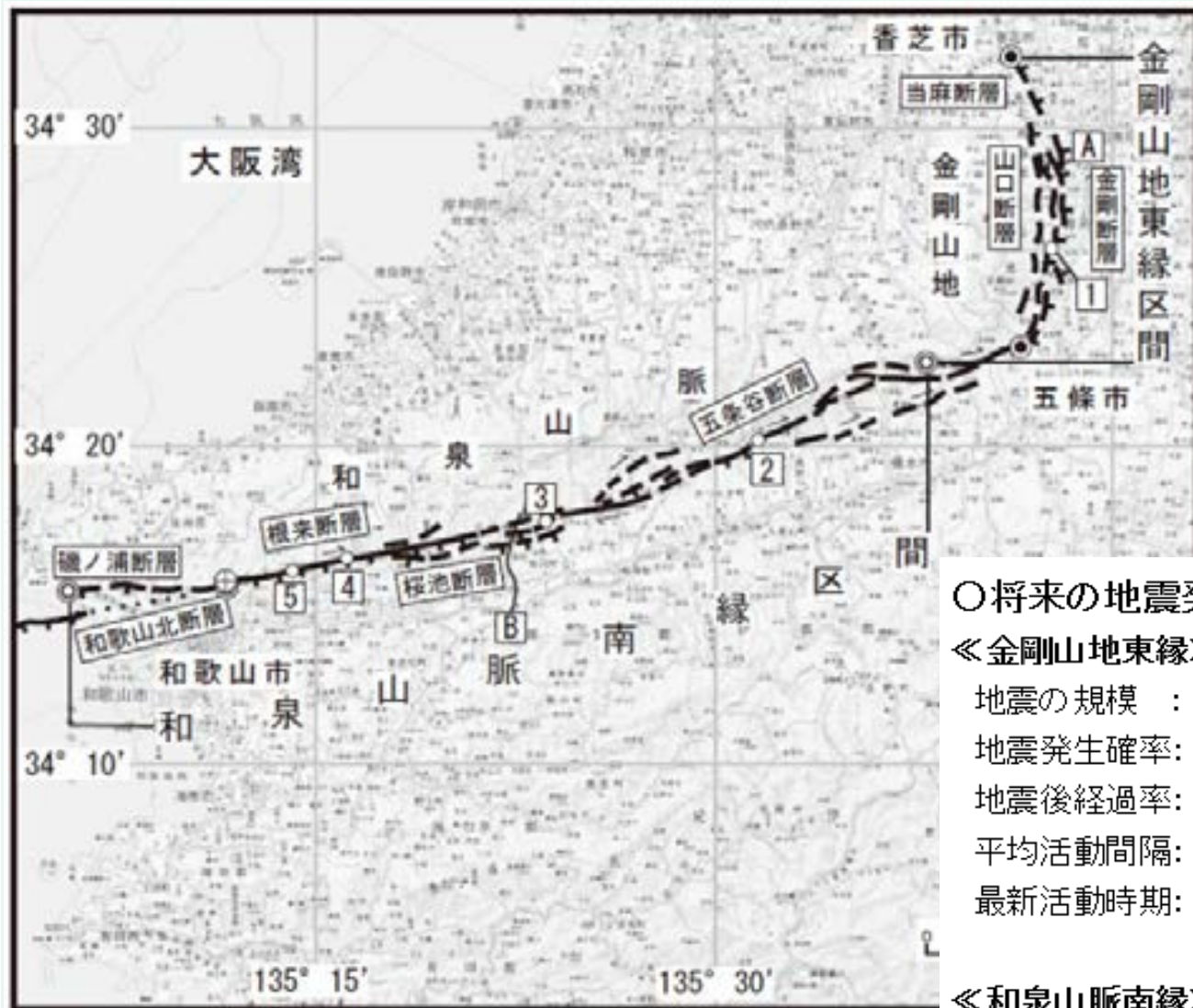
茨木地区：安威断層の最新活動時期は鎌倉時代～江戸時代、真上断層の最新活動時期は鎌倉～室町時代以降

有馬－高槻構造線活断層の最新活動は1596年慶長伏見地震に対応する。
先行する活動は約2800年前の縄文時代晩期に生じた。

平成8年1月10日 地震調査研究推進本部 地震調査委員会

- ①：金剛山地東緣 ②：和泉山脈南緣 ③：紀淡海峽-鳴門海峽
④：讚岐山脈南緣-石鎚山脈北緣東部 ⑤：石鎚山脈北緣
⑥：石鎚山脈北緣西部-伊予灘





○将来の地震発生の可能性 [\[上に戻る\]](#)

≪金剛山地東縁≫

地震の規模 : M6.9程度

地震発生確率: 30年以内に、(ほぼ)0%~5%

地震後経過率: 0.1-1.0 (地震後経過率とは?)

平均活動間隔: 約2000年-14000年

最新活動時期: 約2000年前-4世紀

≪和泉山脈南縁≫

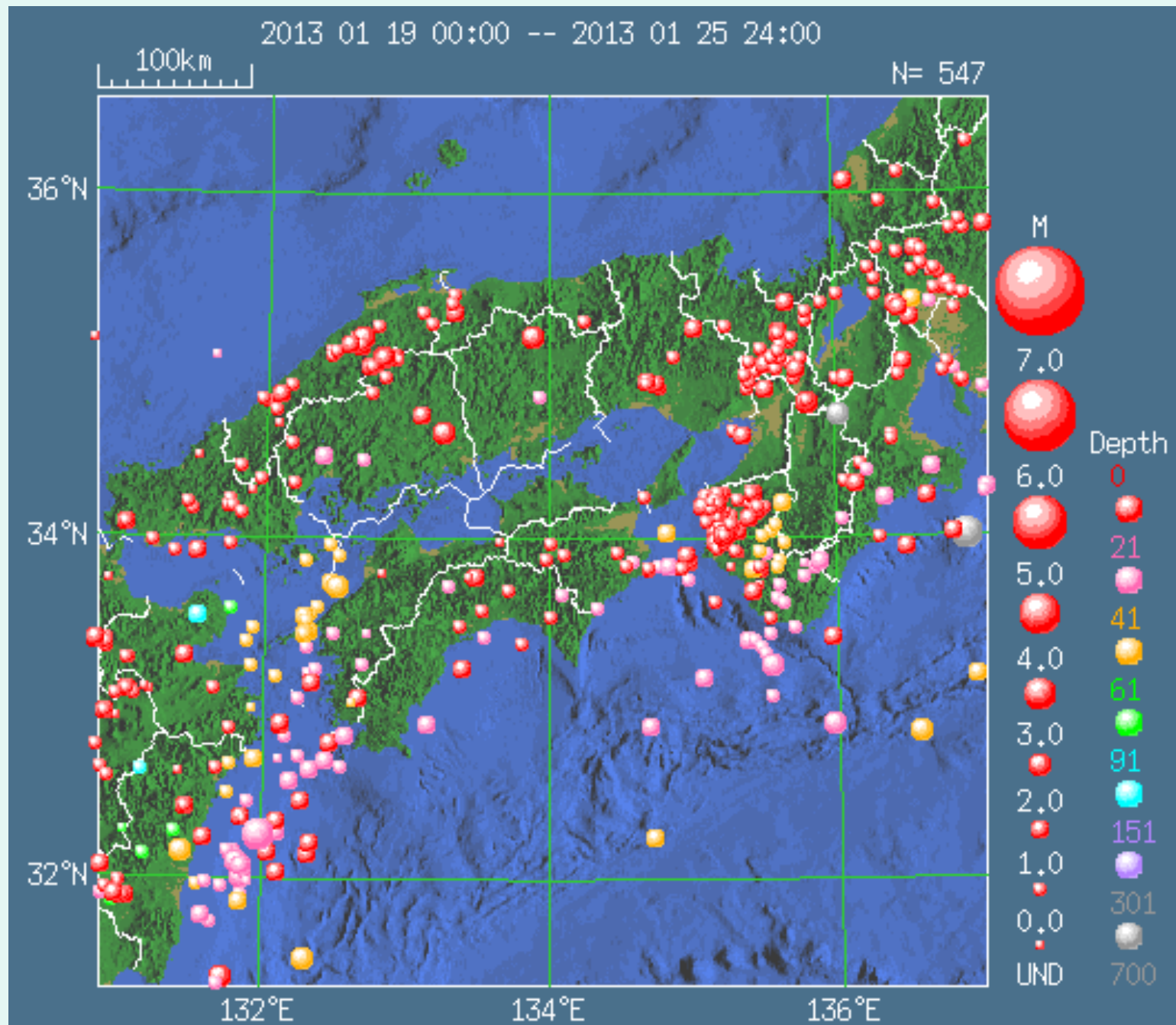
地震の規模 : M7.6-7.7程度

地震発生確率: 30年以内に、0.06%~14%

地震後経過率: 0.5-1.3 (地震後経過率とは?)

平均活動間隔: 1100年-2300年程度

最新活動時期: 7世紀-9世紀



張衡(AD. 78~ 139)の地動儀(西暦132年)



類聚國史卷第一百七十一
 災異部五
 地震

允恭天皇五年秋七月丙子朔己丑地震
 推古天皇七年夏四月乙未朔辛酉地動舍屋悉破
 則令四方俾祭地震神
 皇極天皇元年冬十月癸未朔庚寅地震而雨
 辛卯地震是夜地震而風
 丙午夜中地震
 天智天皇三年春地震



図1. 日本最初の地震カタログ。菅原道真が編集した「類聚国史」の「災異部、地震」。(東京大学総合図書館蔵)



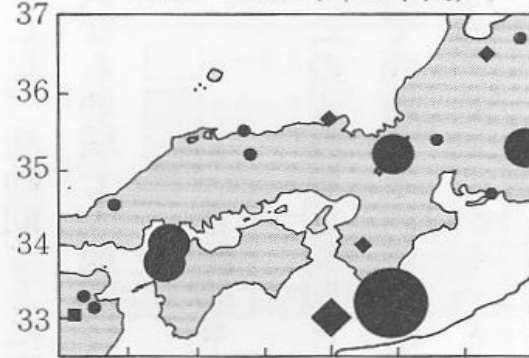


地震活動期

静穏期

南海トラフの巨大地震

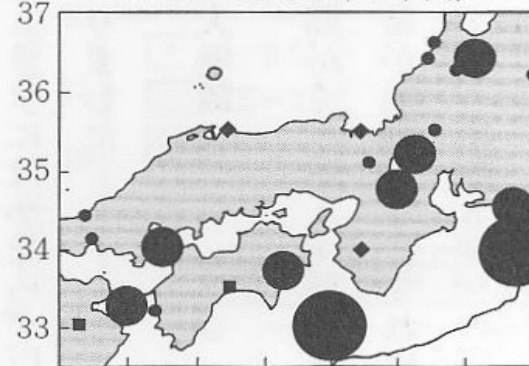
1649～1718年(70年間)



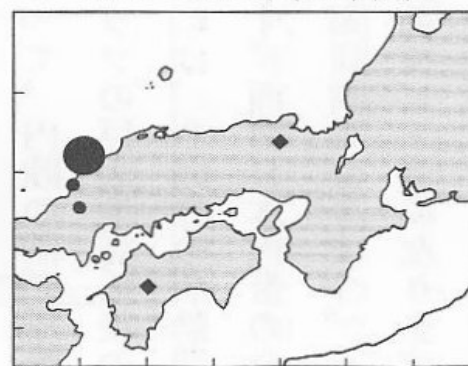
1719～1788年(70年間)



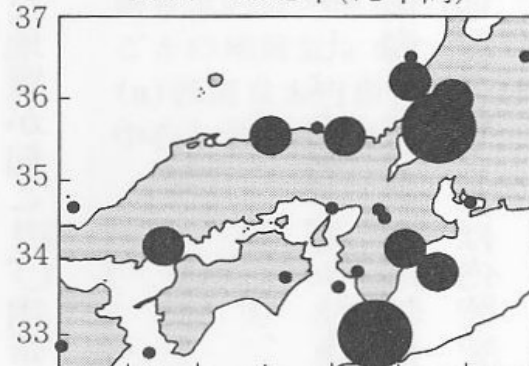
1789～1858年(70年間)



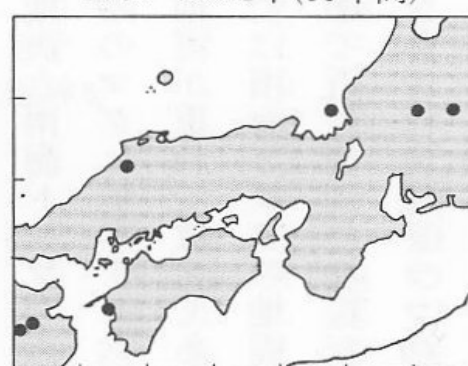
1859～1890年(32年間)



1891～1961年(71年間)



1962～1994年(33年間)



131 132 133 134 135 136 137 138 131 132 133 134 135 136 137 138

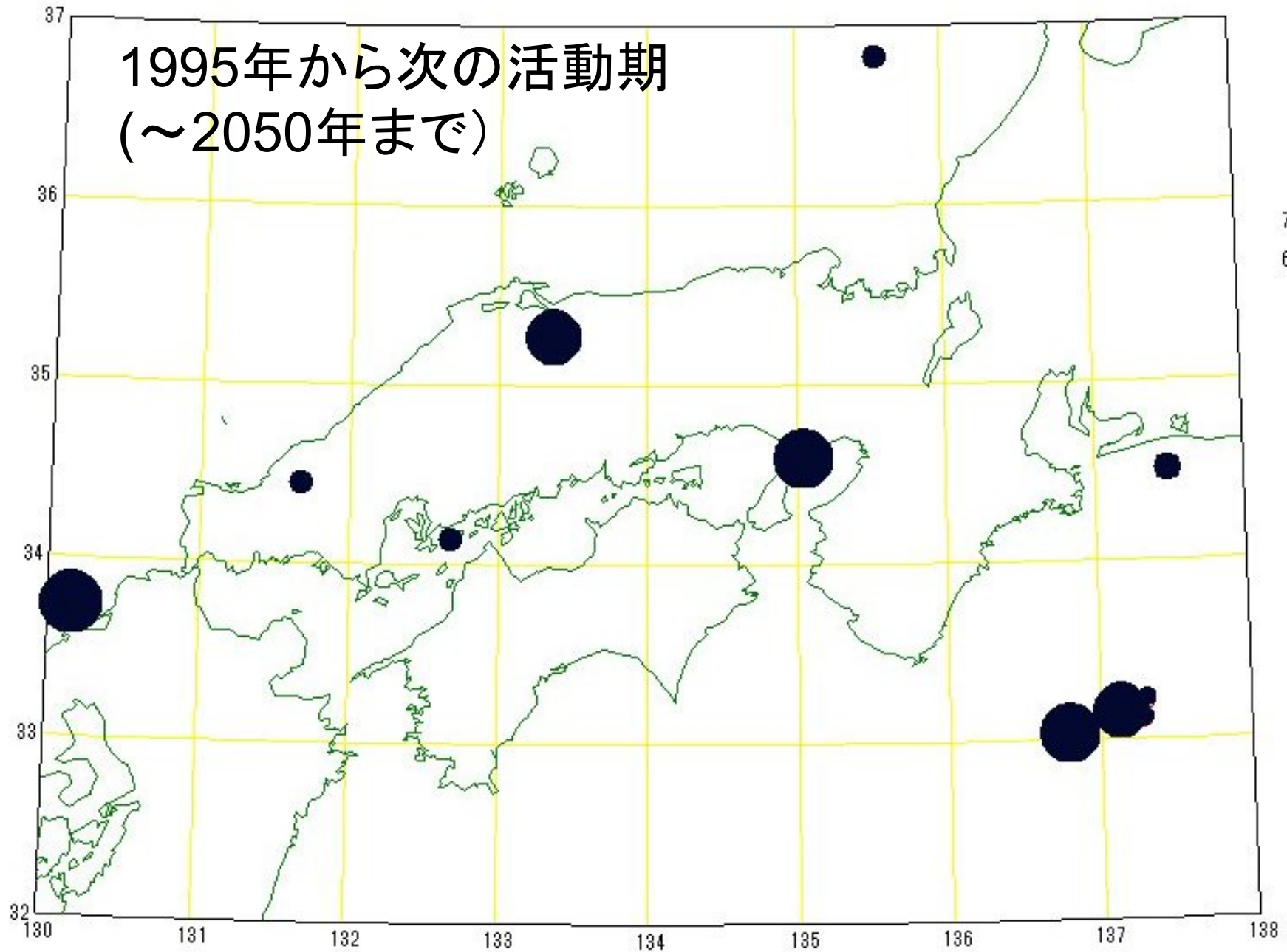
1707年10月28日
(宝永4年10月4日)M 8.4
『宝永地震』(2つの地震)

1854年12月23日
(安政1年11月4日)M 8.4
『安政東海地震』
1854年12月24日
(安政1年11月5日)M 8.4
『安政南海地震』

1944年12月7日
(昭和19年)M 7.9
『東南海地震』
1946年12月21日
(昭和21年)M 8.0
『南海地震』

1995 1/1 0:0 -- 2011 3/31 23:59

1995年から次の活動期 (~2050年まで)



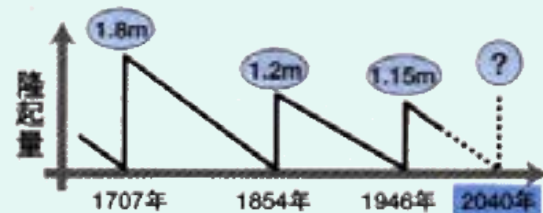
20XX年の巨大地震

南海地震の予測データ

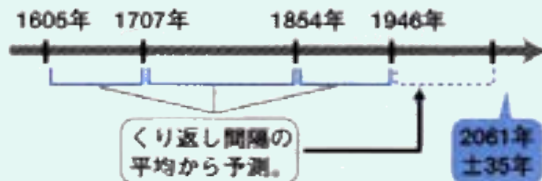
① 時間予測モデル

海溝やトラフに向かう岬の隆起と沈降の程度から予測。

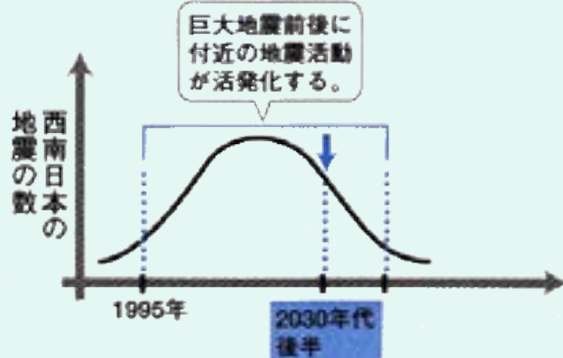
例：室津の港



② 巨大地震のくり返し



③ 地震活動期



3つの考え方を総合すると、次の南海地震は
2030～2040年の発生。



高知県室津港



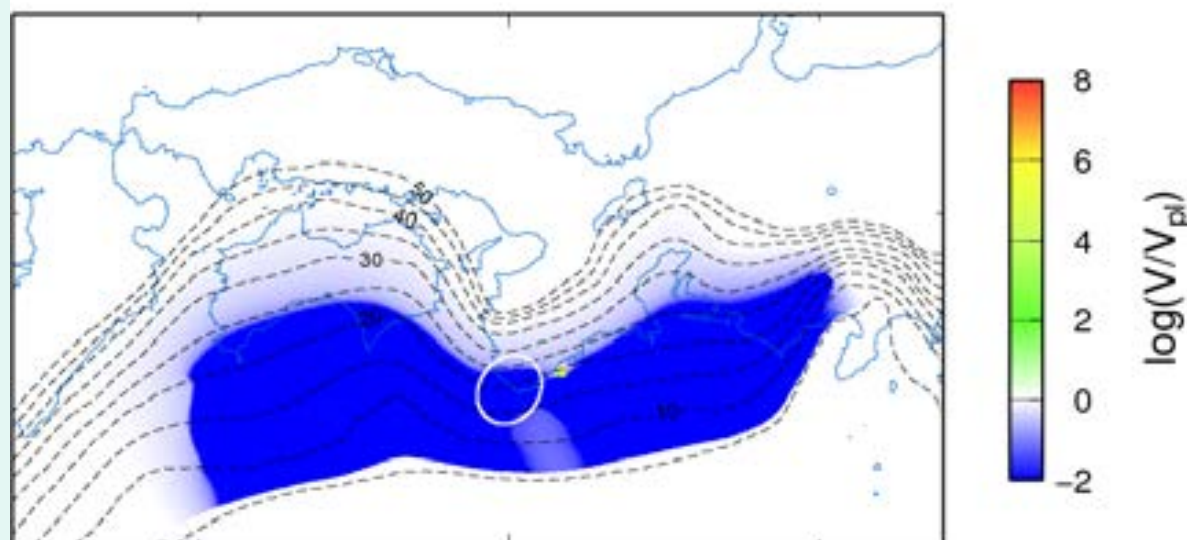
室戸岬の段丘地形



昭和の南海地震で隆起した唐船島



00985y_007d_09h_47m_35s

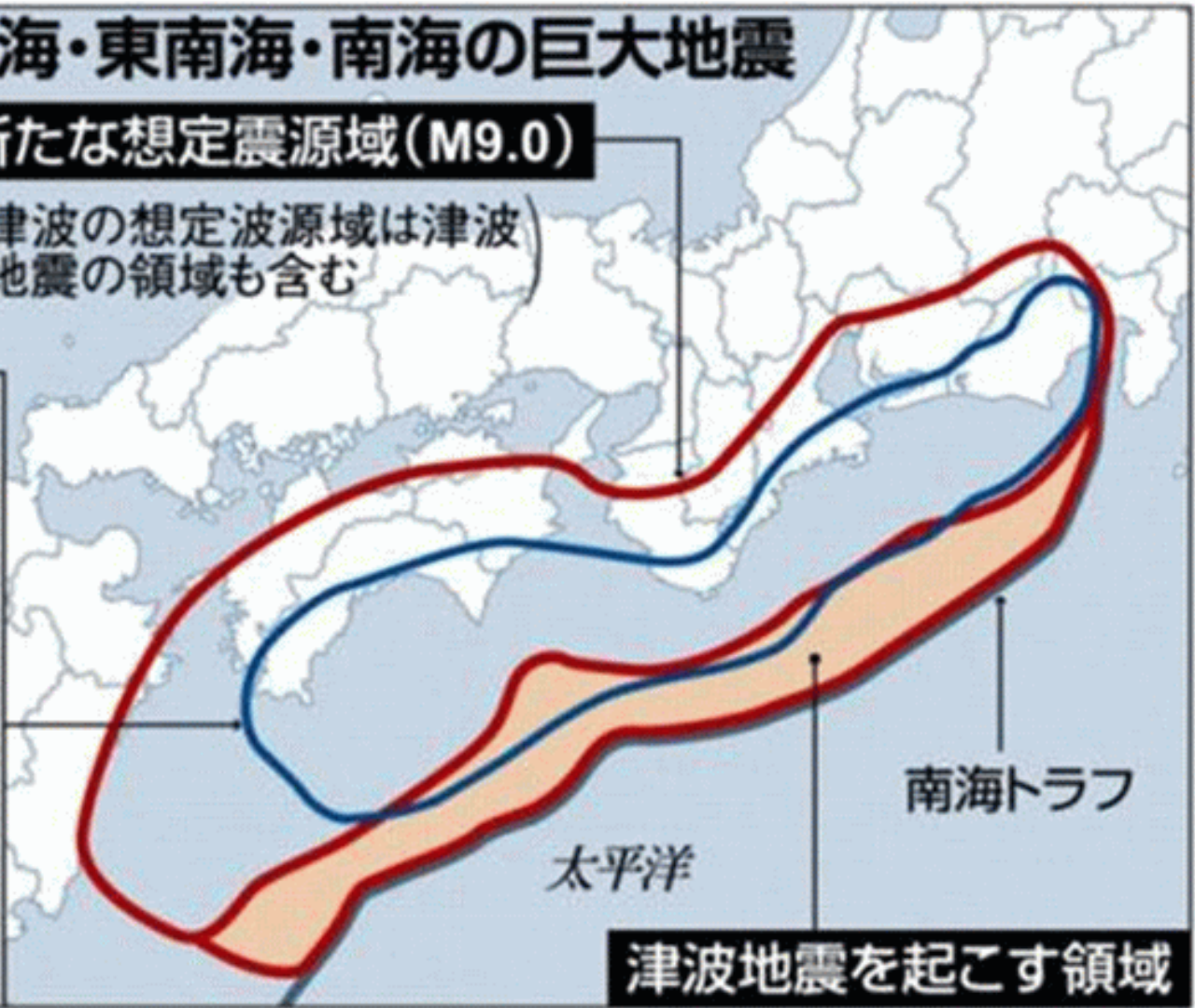


東海・東南海・南海の巨大地震

新たな想定震源域(M9.0)

(津波の想定波源域は津波地震の領域も含む)

従来の想定震源域(M8.7)



Mw 9.1

ニュース詳細

南海トラフ 巨大地震と津波の被害想定

8月29日 17時17分

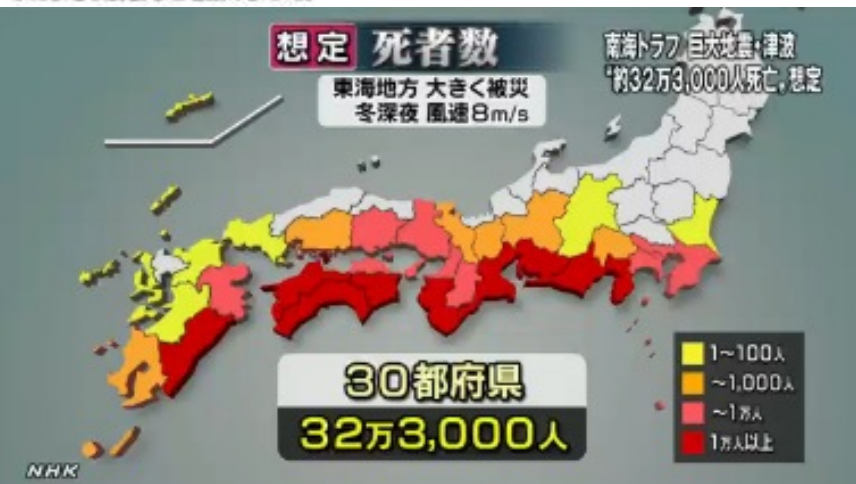


南海トラフ 巨大地震・津波 被害想定
"想定で約32万3,000人のおそれ"

太平洋沿岸の「南海トラフ」付近で起きる巨大地震と津波で、国は最悪の場合、およそ32万3000人が死亡するおそれがあるという被害の新たな想定を公表しました。

一方で、早めの避難や耐震化などの対策を進めれば、大幅に被害を減らすことができるとしています。

東日本大震災をきっかけに、国は去年、東海から西の太平洋沿岸の「南海トラフ」付近で起きる巨大地震の防災対策を見直すため、専門家による検討会などを設けました。



国 経済的被害など推計し
冬までに新防災対策取りまとめへ

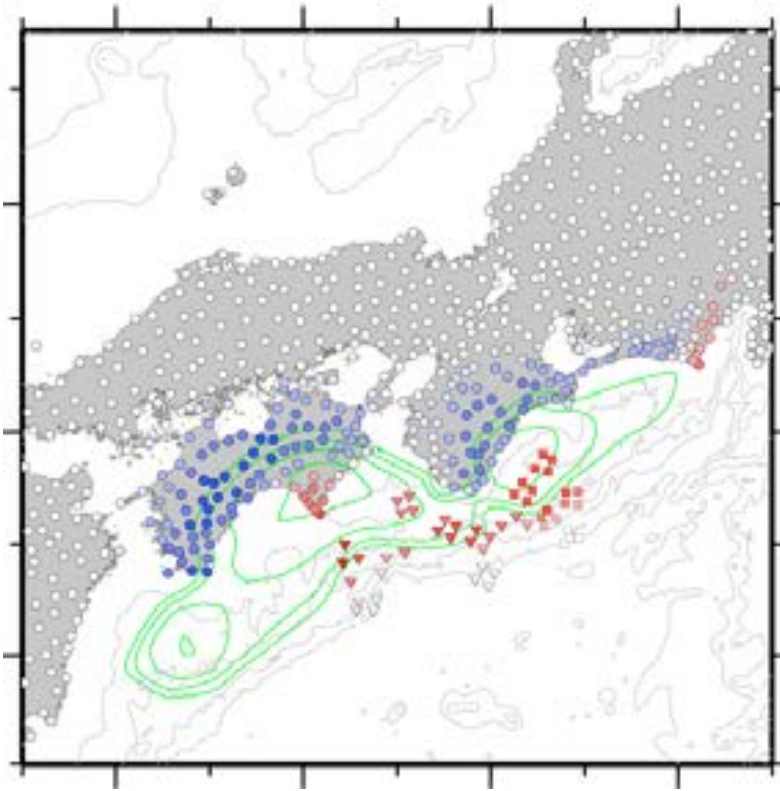


防災対策による被害軽減
地震動に対する
建 避難ビルなど活用

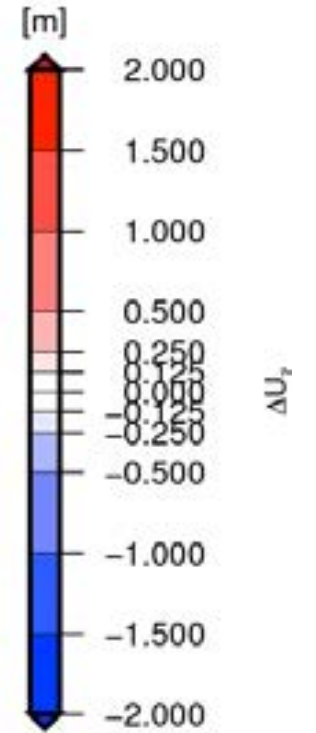
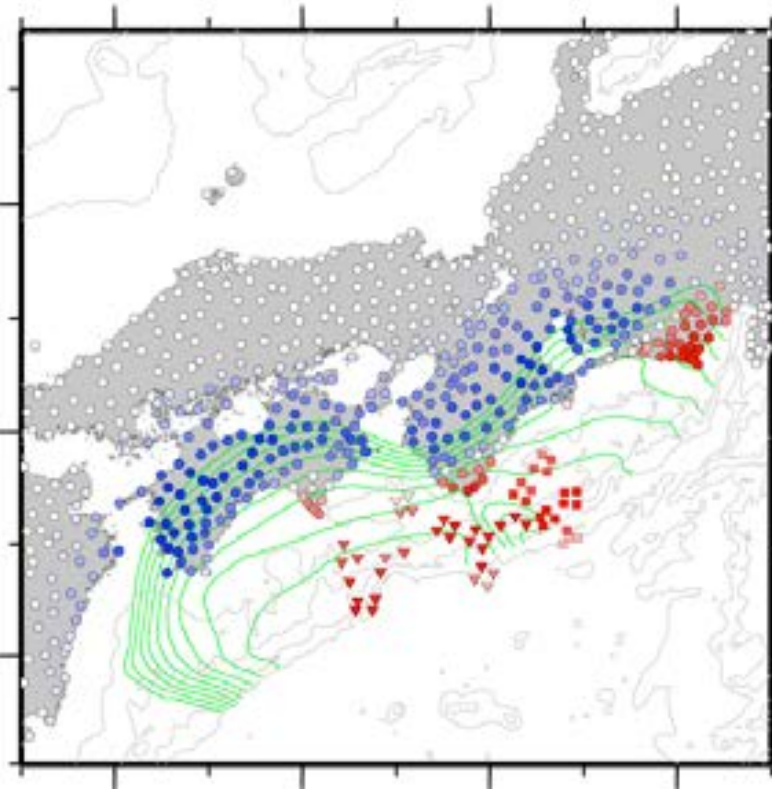
津波の死者
最大約80% ↓

補足:鉛直地殻変動

地震発生帯のみすべる場合



浅部&深部延長がすべる場合



2. 「最大クラスの津波」をどのように受け止めるべきか

(1)南海トラフにおいて次に発生する地震・津波が、今回示される「最大クラスの地震・津波」であるというものではない。

(2)東日本大震災の教訓から、命を守ることを最優先として、この最大クラスの津波への対応を目指す必要がある。

(3)しかしながら、この地震・津波の発生頻度は極めて低いものであり、過度に心配することも問題である。最大クラスの津波の高さや津波到達時間が、実際に避難するに当たって厳しいものであるからといって、避難をはじめから諦めることは、最も避けなければならない。なぜなら、最大クラスの津波に比べて規模が小さい津波が発生する可能性が高いにもかかわらず、避難を諦めることで、助かる命を落としかねない。

(4)これまで取り組んできた避難訓練などが無意味になるものではなく、条件が厳しくなったと受け止め、「非常に大きな津波が起こりうるということ」を念頭に置き、「強い揺れが起きたら逃げる」ということを一人ひとりがしっかりと認識して頂きたい。敢えて言えば、正しく恐れてほしい。

- 序
- 季語の生まれた国
- 太陽と月の役割
- 地球の今
- 変動帯と安定大地
- 日本海の拡大
- 東日本の巨大地震
- 日本列島を見る
- 西南日本の地震活動
- 地球社会の調和ある共存

地球社会の調和ある共存

食べることに熱心である。と当時に食えることのできない人たちのことを思う。私のいる大学の基本理念には「地球社会の調和ある共存」という言葉がある。

万物の共生であり、人もその万物の中の一員である。俳句もその考えに立ち、自然をしつかりと見つめながら自分に引きつけて詠む。俳句を始めて十五年ほどになり、ようやくそのような実感できるようになった。そして次の句を座右に置いている。

橡の実を熊に残して拾ひけり 茨木和生

.....

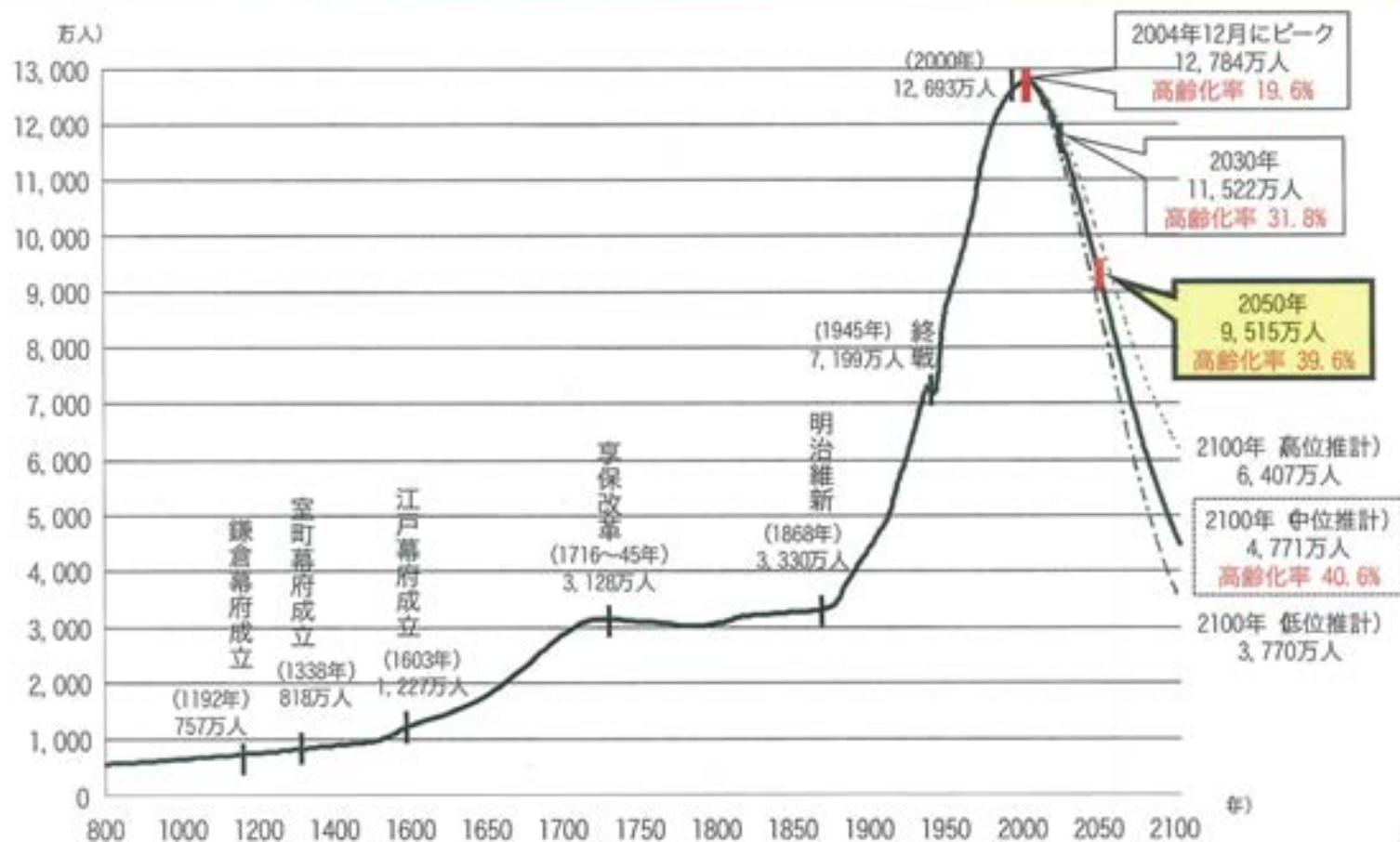
『週間日本の歳時記』

「私の好きな一句」より 尾池和夫



我が国の人口は長期的には急減する局面に

○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。この変化は千年単位でみても類を見ない、極めて急激な変化。



出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」（1974年）をもとに、国土交通省国土計画局作成

先進国では
Reduce,
Reuse and
Recycle?

もったいない
マータイさん



「吾唯知足」
龍安寺の知足の蹲踞
一茶室蔵六庵の露地

巨大地震関連の句

尾池和夫

『氷室』二〇一一年六月号「瓢鮎抄」(三〇)

- ・ 摩天楼の振り幅見ゆる春の地震
- ・ 大地震や富士に雪崩の跡探る

『氷室』二〇一一年八月号「瓢鮎抄」(三二)

- ・ まつすぐに青田を分けて福島へ
- ・ ここからは人住めぬ町夏の草
- ・ 草茂るなかに残され牛の群
- ・ 防護服装着練習冷房裡
- ・ ゴーグルの視界の坂や夏蕨
- ・ 原子炉の建屋へ歩む日の盛
- ・ 線量計覗き込む汗乾きけり
- ・ 今年竹津波の跡にひるがへる

『読売新聞』夕刊「五七五七七」二〇一一年八月三一日

- ・ 地震跡に蠟燭を立て魂迎へ
- ・ たましひを陸(くが)に呼び寄せ盆の月
- ・ 揺り戻し揺り戻す地や秋めきぬ

『俳句四季』二〇一二年三月「東日本大震災」

- ・ 三陸の若布待ちをり春隣



『四季の地球科学 ー日本列島
の時空を歩くー』
岩波新書 2012年7月20日



尾池和夫『日本列島の巨大地震』
岩波科学ライブラリー
2011年10月26日



ありがとうございました。
Thank you very much.
谢谢
감사합니다
ขอบคุณ มาก ครับ♪
Спасибо